

小金井市市民参加推進会議（第60回）次第

日時 令和3年4月8日（木）午後6時00分から

場所 市役所第二庁舎8階801会議室

- 1 理想の市民参加について
- 2 次回推進会議の開催日について
- 3 その他

■配布資料

- 資料1 意見・提案シート
- 資料2 市への意見の出し方
- 資料3 令和元年度 市民相談のまとめ（抜粋）
- 資料4 令和元年度 市長への手紙（抜粋）
- 資料5 理想の市民参加 課題と解決策
- 資料6 第8期市民参加推進会議行程表

意見・提案シート

◆推進会議の検討内容（今回・次回以降）についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、企画政策課にご提出ください。次回開催の1週間前までに届いたものは、推進会議で資料として配付します。

自由に意見を述べた。ふんわり、様々な意見を聞かされた。
 大変参考になった。
 「理想の市民参加」の先には、多様な尊重、理解が
 大事に思われる。かああとうと感じられた。
 小金井の教育環境がよくなったが、大変おもしろい環境、地域
 ある面と、不登校の子も増えたが、この数は増え続けている。
 20代、30代の自己学習の割合も高くなってきている。現実がある。
 (小金井市自校学習計画あり)。苦しい思いを抱えている子どもたちも、
 子育て世代、^{70代} 孤立している方が、声を出せしめるは重要課題。
 大卒の課題は、三審級、^{100代} あげよう。
 この場が議論の場を創出してほしい。参加から参加へと進んで
 進んでほしいと感じた。大変勉強になった。ありがとうございました。

提出日 2020年10月21日

氏名 岡頭初子

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。無記名の場合は参考資料として委員に配付し、インターネット等での公開は行いません。

(送付先)
 小金井市企画財政部企画政策課
 〒184-8504 小金井市本町6-6-3 連絡先：042-387-9800
 FAX：042-387-1224 E-mail：s010199@koganei-shi.jp

市への意見の出し方 まとめ

所管	媒体	周知方法	概要	媒体・アクセス方法	R1実績	H30実績
広報秘書課	要望・意見カード等	HP	市長への御意見・ご要望等をいただく。	投書箱（本庁舎・第2庁舎） ／広報秘書課広聴係窓口へ投書・来庁	110	118
広報秘書課	市長へのファックス	市報、HP	市長への御意見・ご要望等をいただく。	FAXで送付	7	19
広報秘書課	市長へのEメール	市報、HP	市長への御意見・ご要望等をいただく。	メールで送付	156	159
広報秘書課	市民と市長の座談会	市報、HP	市政への御意見・御提案を市長が直接伺う。	メール等で申込	年4回	年4回
広報秘書課	市長への手紙	市報、HP	市政への御意見・御要望についてアンケートを行う。	無作為抽出（2,000人）で郵送されたアンケートへ回答	年1回	年1回
各課	パブリックコメント	HP、市報、Twitter、窓口、公共施設等に設置	計画等の施策原案についての御提言をいただく。	書面/FAX/メールで提出	都度	都度
各課	市民意向調査/ 市民アンケート	都度異なる	計画等策定に当たり、該当分野への御意見・御要望についてアンケートを行う。	都度異なる	都度	都度

令和元年度
市民相談のまとめ

令和3年2月

小金井市企画財政部
広報秘書課

IV 「要望・意見カード」等のまとめ

投書などによる市民の皆さんの要望、意見、苦情等を的確に把握するとともに、市政に反映していくことを目的とします。

市民の皆さんから寄せられた意見等は、「要望・意見カード」等により市長まで報告後、担当課に依頼し、検討結果あるいは対応の結果などを極力文書等により回答しています。

また、回答状況のうち「参考」扱いとして処理したものの中には、匿名などにより回答できなかったものも含まれています。

年度別取扱件数

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
件数	159	127	137	153	161	207	180	143	141	118	110

受付方法等

区分	方 法 等						性 別			
	来庁	文書	投書	電話	その他	計	男	女	不明	計
件数	8	37	39	15	11	110	66	41	3	110
割合(%)	7.3	33.6	35.5	13.6	10.0	100.0	60.0	37.3	2.7	100.0

内容と処理方法

区分	内 容 別					処 理 経 過		
	意見	要望	苦情	その他	計	回答・対応	参考	計
件数	26	85	61	0	172	72	100	172
割合(%)	15.1	49.4	35.5	0.0	100.0	41.9	58.1	100.0

※割合(%)については、小数点第2位を四捨五入していることから、内訳の数値が全体の計に一致しない場合があります。

V 「市長へのファクス」のまとめ

広聴業務を充実させるため、市民の皆さんからの声をいつでも受け付け、市政運営に反映していくことを目的に、平成11年6月1日市長室にファクシミリを設置し、ファクスの愛称を募集し、選考の結果「ふれあい24」が決定されました。

市民の皆さんから寄せられた意見等は、市長が目を通した後、「市長へのファクス」カードにより担当課に送付し、検討結果あるいは対応の結果などを必要に応じて文書等で回答しています。

市民の皆さんに親しまれ、より身近に市政に参加していただけるよう、市報「こがねい」にファクス番号を毎号掲載し、周知に努めています。

また、処理経過のうち「参考」等の扱いとして処理したものの中には、匿名などにより回答できなかったものも含まれています。

取扱件数

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
取扱件数	20	18	28	9	19	7

内容と処理方法

区分	内 容 別					処 理 経 過		
	意見	要望	苦情	その他	計	回答・対応	参考	計
件数	1	5	2	0	8	1	7	8
割合(%)	12.5	62.5	25.0	0.0	100.0	12.5	87.5	100.0

課別内訳

課 名	件 数	構成比(%)	課 名	件 数	構成比(%)
広 報 秘 書 課	1	12.5	区 画 整 理 課	1	12.5
職 員 課	1	12.5	公 民 館	1	12.5
道 路 管 理 課	4	50.0	合 計	8	100.0

※意見・要望等が複数課に関連する場合は、それぞれ1件としました。

※割合(%)及び構成比(%)については、小数点第2位を四捨五入していることから、内訳の数値が全体の計に一致しない場合があります。

VI 「市長へのEメール」のまとめ

広聴業務を更に充実させるため、市のホームページに「市長へのEメール」を設け、市民の皆さんからの声をいつでも受け付け、市政運営に反映していくことを目的に、平成16年3月1日から実施しています。

市民の皆さんから寄せられた意見等は、市長が目を通した後、「市長へのEメール」カードにより担当課へ送付し検討結果あるいは対応の結果などを必要に応じて文書で回答しています。

取扱件数

年度	29年度	30年度	元年度
取扱件数	125	159	156

内容と処理方法

区分	内 容 別					処 理 経 過		
	意見	要望	苦情	その他	計	回答・対応	参考	計
件数	38	88	98	0	224	112	112	224
割合(%)	17.0	39.3	43.8	0.0	100.0	50.0	50.0	100.0

課別内訳

課 名	件 数	構成比(%)	課 名	件 数	構成比(%)
企画政策課	7	3.1	子育て支援課	1	0.4
広報秘書課	9	4.0	保 育 課	11	4.9
総 務 課	1	0.4	児童青少年課	4	1.8
地域安全課	10	4.5	都市計画課	3	1.3
職 員 課	11	4.9	まちづくり推進課	2	0.9
市 民 課	5	2.2	道路管理課	16	7.1
経 済 課	9	4.0	建築営繕課	1	0.4
資 産 税 課	1	0.4	交通対策課	20	8.9
納 税 課	4	1.8	議会事務局	2	0.9
環境政策課	16	7.1	選挙管理委員会	2	0.9
ごみ対策課	6	2.7	庶 務 課	4	1.8
下水道課	2	0.9	学 務 課	10	4.5
地域福祉課	5	2.2	指 導 室	13	5.8
自立生活支援課	13	5.8	生涯学習課	7	3.1
介護福祉課	4	1.8	図 書 館	2	0.9
健 康 課	16	7.1	公 民 館	7	3.1
			合 計	224	100.0

※意見・要望等が複数課に関連する場合は、それぞれ1件としました。

※割合(%)及び構成比(%)については、小数点第2位を四捨五入していることから、内訳の数値が全体の計に一致しない場合があります。

令和元年度

市長への手紙

令和2年6月

小金井市企画財政部広報秘書課

I 調査の概要

1 目的

市民が市政にどのような施策を望み、何を期待するか市民の意識を把握し、市政運営に資する。

2 調査期間

令和元年9月13日から9月27日

3 調査対象・人数・方法

18歳以上で住民基本台帳から無作為に抽出した2,000人。調査は、郵送による発送・回収。

4 結果

対象者数 2,000人

回答者数 575人

回答率 28.8%

(1) 町別

性別 町別	男					女					不明	合計				
	対象者 (人)	構成比 (%)	回答者 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)	対象者 (人)	構成比 (%)	回答者 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)		対象者 (人)	構成比 (%)	回答者 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)
東町	137	13.9	36	15.8	26.3	138	13.6	43	13.1	31.2	2	275	13.8	81	14.1	29.5
梶野町	85	8.6	18	7.9	21.2	87	8.6	28	8.5	32.2	1	172	8.6	47	8.2	27.3
関野町	11	1.1	1	0.4	9.1	11	1.1	1	0.3	9.1		22	1.1	2	0.3	9.1
緑町	129	13.1	27	11.8	20.9	134	13.2	40	12.2	29.9		263	13.2	67	11.7	25.5
中町	100	10.2	28	12.3	28.0	105	10.3	39	11.9	37.1	1	205	10.3	68	11.8	33.2
前原町	122	12.4	37	16.2	30.3	122	12.0	43	13.1	35.2	1	244	12.2	81	14.1	33.2
本町	157	16.0	36	15.8	22.9	175	17.2	50	15.2	28.6	2	332	16.6	88	15.3	26.5
桜町	36	3.7	10	4.4	27.8	41	4.0	17	5.2	41.5		77	3.8	27	4.7	35.1
貫井北町	95	9.7	21	9.2	22.1	91	8.9	27	8.2	29.7		186	9.3	48	8.3	25.8
貫井南町	111	11.3	14	6.1	12.6	113	11.1	40	12.2	35.4		224	11.2	54	9.4	24.1
不明			0	0.0				0			12			12	2.1	
合計	983	100.0	228	100.0	23.2	1,017	100.0	328	100.0	32.3	19	2,000	100.0	575	100.0	28.8

(2) 年代別

性別 年代	男					女					不明	合計				
	対象者 (人)	構成比 (%)	回答者 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)	対象者 (人)	構成比 (%)	回答者 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)		対象者 (人)	構成比 (%)	回答者 (人)	構成比 (%)	回答率 (%)
10歳代	25	2.5	7	3.1	28.0	21	2.1	7	2.1	33.3		46	2.3	14	2.4	30.4
20歳代	152	15.5	20	8.8	13.2	150	14.7	26	7.9	17.3		302	15.1	46	8.0	15.2
30歳代	168	17.1	38	16.7	22.6	164	16.1	57	17.4	34.8	1	332	16.6	96	16.7	28.9
40歳代	182	18.5	35	15.4	19.2	174	17.1	61	18.6	35.1		356	17.8	96	16.7	27.0
50歳代	170	17.3	36	15.8	21.2	164	16.1	46	14.0	28.0	2	334	16.7	84	14.6	25.1
60歳代	129	13.1	33	14.5	25.6	123	12.1	42	12.8	34.1	1	252	12.6	76	13.2	30.2
70歳以上	157	16.0	59	25.9	37.6	221	21.7	89	27.1	40.3	2	378	18.9	150	26.1	39.7
不明			0					0			13			13	2.3	
合計	983	100.0	228	100.0	23.2	1,017	100.0	328	100.0	32.3	19	2,000	100.0	575	100.0	28.8

※なお、割合(%)については、小数点第2位を四捨五入していることから、内訳の数値が全体の計に一致しない場合があります。次頁以降の割合(%)についても同様です。

【調査票】

3 「市政に対する満足度」についてうかがいます。

問6) 下の29の項目に対する満足度（1満足している、2やや満足している、3どちらともいえない、4やや不満である、5不満である）について当てはまるものに○印をつけてください。

みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）		満足度
1	みどりと水 (みどり・公園・水辺の保全、創出など)	1 2 3 4 5
2	ごみとまちの美化 (ごみの減量、ごみ処理施設など)	1 2 3 4 5
3	環境保全 (地球温暖化対策、環境保全など)	1 2 3 4 5
4	市街地整備 (駅周辺のまちづくり、都市計画など)	1 2 3 4 5
5	住宅・住環境 (住宅供給、住環境、上下水道など)	1 2 3 4 5
6	道路・河川 (道路、交通環境、交通機関、河川など)	1 2 3 4 5
ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）		満足度
7	コミュニティネットワーク (市民協働、地域活動、地域情報など)	1 2 3 4 5
8	地域安全 (危機管理体制、防災、防犯など)	1 2 3 4 5
9	創造的産業 (新産業育成、コミュニティビジネスなど)	1 2 3 4 5
10	商業 (商業振興、魅力ある商店街、観光など)	1 2 3 4 5
11	工業 (工業振興、住環境との調和など)	1 2 3 4 5
12	農業 (農業振興、市民農園、地場産業など)	1 2 3 4 5
13	消費者生活・勤労者福祉 (消費者啓発、労働環境など)	1 2 3 4 5
14	雇用 (就労支援の充実、雇用の拡大など)	1 2 3 4 5
豊かな人間性と次世代の夢を育むまち（文化と教育）		満足度
15	文化・芸術 (芸術文化活動、文化財、文化施設、文化交流など)	1 2 3 4 5
16	人権・平和・男女共同参画 (意識啓発、ワークライフバランスなど)	1 2 3 4 5
17	生涯学習 (生涯学習施設、生涯学習活動など)	1 2 3 4 5
18	スポーツ・レクリエーション (イベント・各種活動、体育施設など)	1 2 3 4 5
19	学校教育 (教育内容・方法、学習環境、学校施設など)	1 2 3 4 5
20	幼児教育 (保護者負担軽減、幼稚園支援、地域ネットワークなど)	1 2 3 4 5
誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち（福祉と健康）		満足度
21	地域福祉 (福祉施設、地域の福祉活動など)	1 2 3 4 5
22	高齢者福祉 (活躍の場、生活支援、介護予防、介護保険など)	1 2 3 4 5
23	子ども家庭福祉 (子育て・子育て支援、子育て環境など)	1 2 3 4 5
24	障がい者福祉 (心のバリアフリー、生活支援、医療連携など)	1 2 3 4 5
25	健康・医療 (検診・健康診査、医療体制、国保など)	1 2 3 4 5
その他（行政）		満足度
26	市民参加・市民協働 (情報公開、個人情報保護、市民参加、広報・広聴など)	1 2 3 4 5
27	行政経営 (市民サービス、公民連携、行政評価、市職員など)	1 2 3 4 5
28	計画的行政 (新庁舎、施設整備、諸計画整備、広域連携など)	1 2 3 4 5
29	財政・財務 (財政健全化、財源確保、コスト削減など)	1 2 3 4 5

問7) 上の29項目のうち、あなたが市政に重要だと思う項目番号を、3つ記入してください。

--	--	--

【調査票】

7 その他、市政へのご意見等お聴かせください。

質問は以上です。ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れ 9月27日（金）までに郵便ポストに投函してください。

VII 市長への手紙・世論調査実施状況

年度	調査期間	対象者人数(人)		回収率 (%)	回答者 (人)
		市長への手紙	世論調査		
41	8.10 ~ 8.30		500		
43	5.11 ~ 6.10	対象者を特定しない			
45	5.21 ~ 6.20	対象者を特定しない			
	10.20 ~ 10.31		1,000		
52	9.26 ~ 10.31		800		
55	9.1 ~ 9.30	500			
56	12.1 ~ 12.31	500			
57	11.1 ~ 11.25		1,400		
59	8.1 ~ 9.30	500			
60	8.1 ~ 9.30	500			
61	8.1 ~ 8.31	2,000		51.6	1,032
62	9.1 ~ 9.27		1,500	79.2	1,188
63	6.1 ~ 6.15	2,000		33.1	662
元	6.1 ~ 6.15	2,000		31.5	629
2	7.1 ~ 7.15	2,000		29.3	585
3	7.1 ~ 7.15	2,000		26.6	531
4	9.22 ~ 10.11		1,500	77.3	1,160
5	12.15 ~ 12.31	2,000		30.2	604
6	9.1 ~ 9.15	2,000		27.3	546
7	10.1 ~ 10.15	2,000		27.7	553
8	9.1 ~ 9.15	2,000		24.9	498
9	9.1 ~ 9.15	2,000		23.6	471
10	実施せず、企画課にて市民意向調査実施				
11	9.1 ~ 9.15	2,000		27.3	546
12	9.1 ~ 9.15	2,000		25.2	504
13	9.1 ~ 9.15	2,000		21.2	425
14	9.1 ~ 9.15	2,000		21.2	423
15	9.15 ~ 9.30	2,000		19.4	388
16	9.15 ~ 9.30	2,000		19.1	381
17	9.15 ~ 9.30	2,000		21.0	420
18	9.15 ~ 9.30	2,000		19.6	392
19	9.15 ~ 9.30	2,000		19.3	385
20	9.15 ~ 9.30	2,000		22.6	452
21	9.15 ~ 9.30	2,000		21.3	426
22	9.15 ~ 9.30	2,000		22.2	444
23	2.15 ~ 2.29	2,000		21.6	432
24	12.1 ~ 12.15	2,000		22.9	457
25	10.15 ~ 10.31	2,000		31.8	636
26	実施せず、企画課にて市民意向調査実施				
27	9.15 ~ 9.30	2,000		30.6	612
28	10.14 ~ 10.31	2,000		29.2	584
29	9.15 ~ 9.30	2,000		27.0	540
30	実施せず、企画政策課にて市民意向調査実施				
元	9.13 ~ 9.27	2,000		28.8	575

「理想の市民参加」 課題と解決策

No.	意見	概要	課題	解決策	備考
1	集まるとかではなくて、意見をいただいただけだったら書面とかネットとか、例えばアンケートを用いて行くと、より多くの人から意見をもらえるのかなと思う。	意見をもらいやすい手法があると良い。	○市民から意見を出すメリットが無い。 ○意見を出してもらえない。	○SNSの活用 ○意見を出したくなる仕掛けづくり ・インセンティブ ・ポイント制度 ・簡易な仕組み	○手法自体が市のPRになる。
2	何か意見をしたいと思ったときに、どこにどう言えばいいのかというのが分からないところがあるので、どうすればいいかなといつも考えている。結局行動出来ずにそのまま終わってしまう事が多々あるので、意見や質問を伝えたいと思っている市民が、市に簡単に伝えられるシステムができればいいなと思う。	市へ意見を伝えやすい仕組みがあると良い。	○仕組み自体はある（市民の声、要望・意見カード、市長へのEメール、市長との懇談等）が、アクセスしづらい。知られていない。 ○意見を出すことに気軽さが無い。	○意見を伝える仕組み自体は既にあるが、意見を気軽に出しやすい体制・仕組みが更にあると良い。 ・イエス／ノーボタン ・気軽な手法	○苦情だけでなく、プラス面の意見も伝えたい。
3	いろいろな人の意見が聞けて、いろいろなことが言えることがいいのではないかなと思う。肯定的なことも、否定的なことも。そこで言うことが反映されるというよりは、自分の意見を市に知ってもらえたのかなというところを作ることが理想の市民参加ではないかなと思う。	市に意見を言い、検討してもらえる環境が理想。	(No.2と重複)	○意見を出すチャンネルの増加 ・生活動線の中 ・公共施設 ○意見に対するフィードバックの充実 ・意見を市報などで紹介	○比較的丁寧な行政運営の印象はある。 ○市民参加は非常に積極的な印象。
4	自分が住んでいるところに対してもっとこうだったらいいのにと思っているところを、もっと伝えようとしている、意思を伝えられる、意見を伝えられるシステムがあったり、考えを持てるようになって自由に表現できるようになるといいなと思う。	市への思いや意思を伝えられるようになると良い。	(No.2と重複)	○場面や対象に応じた媒体（紙・SNS）の活用 ○市報の1/2面など、意見を出す入口（市民の声等）の広告を大きく入れる。 ○HP等で意見窓口を分かりやすくする。	○対象や目的や必要度で分類して考えた方が良い。
5	人によって、理想の市政との関わり方というのは全然違う。その人に合った深さと関わり方をすべきであって、最終的には他人事ではなく、自分のこととして市政を考えられる人が1人でも増えればいいと思う。	自分事として市政を考える人が増えるといい。	○中々市政に興味を持つことは長い目で見ないといけない。	○無作為抽出による審議会委員選出の拡大 ○誰もが「参加できる」という意識の醸成。市報など。	○将来今より増える取組となると良い。

No.	意見	概要	課題	解決策	備考
6	シティズンシップというもの。小金井市に住んでいてよかったと思えるような形に、できるだけたくさんの方が、数的には多くなるというのが1つの理想。	住んでいる市を好きな人が増えると良い。	○今住んでいる人には中々魅力は気付けない。	○前の居住地と比べてどうかといったことを言える場や紹介するものを作る。 ・良かったランキング	○シティプロモーション基本方針に基づき、愛着や誇りの醸成を進めている。
7	サイレント・マジョリティーのこと。意見を持っていても大きな声に出して言えない人の声を吸い上げられるような市民参加でないといけない。	サイレントマジョリティーの意見も聞けないといけない。	○サイレント層は言いづらいと諦めて言わなくなる。 ○サイレント層には放置して欲しい人もいる。サイレント層で意見を言いたい人だけに聞く仕組みが必要。	○サイレント層が意見を言いやすい仕組み ○リアクションしやすい提示、プッシュ型、アウトリーチ型の手法	○パートナーシップ宣誓制度実施
8	(各種審議会について) 自分の知識や興味があることに対して、もっと市民の皆様によく知っていただいて、手が挙げやすい状況になればいいなと思う。	審議会に興味を持ってもらえると良い。	—	○日常生活の中で身近に触れることのできる環境 ○審議会のWebでの配信	○審議会のWeb配信は個人情報等の観点から現状不可としている。
9	自由に意見を出せるような環境、言ってみればきっかけづくりみたいなものをどう整備していくか。まずはそのきっかけづくりをどうしていくかというのが重要。 理想の市民参加という前に、そういう自由に意見を言える環境をどう構築して、そのきっかけづくりをどうしていくかというのがかなり大事だなと思っている。 実際に出された意見を市の政策なり施策に最大限反映させていく姿勢。これはどちらかということ市の姿勢も問われると思うが、そういったものが複合的な形で機能していくことが、理想の市民参加というものを考える上では大事な視点。	市に意見を言いやすい環境があり、市も意見を最大限反映させていく姿勢があると良い。	—	○意見に対するフィードバックの充実	

No.	意見	概要	課題	解決策	備考
10	この市民参加推進会議、審議会ですいろいろな話が自由にできたということは非常に楽しくてやりやすかった。自由に議論ができるということは非常にすばらしい。どれだけまた話せるかということが、今回もいいのかなとは思ってはいる。ポストコロナの時代に、どうやって市民参加の話ができるのか、また地域コミュニティーができるのかという状況なのかもしれないが、そんなことも含めて、楽しく長く、皆さんとお話ができればいいなと思う。	市民と市が自由に楽しく議論できる環境があると良い。			
11	理想の市民参加というのは短い言葉だが、いろいろな視点や観点があるんだなと改めて思っている。 自分事でもあり、みんな事にもなるというのが、そういう、雑駁な感じですけども、そんな感覚というのが多くの人に持たれるというのが、本当にどういうことが整っていけばそういうことになるのかなというのは、改めて本当に今回機会をいただけたこと、考えていきたいなと思う。	市民が市政を「自分事」「みんな事」として捉えられると良い。			

No.	意見	概要	課題	解決策	備考
12	<p>入り口の部分は非常に大変かなと、大事だと思っている。</p> <p>サイレント・マジョリティーも、市も人口構成とか、どのように集団を分けるかにはよると思うが、いろいろなライフステージとか性差とかもあるし、本当に構成を集約できたような会議体になると住みやすいと思うように思う。</p> <p>完全に人口構成に比例した会議体にするとマイノリティーが生まれてきてしまうので、その意見をどのように反映するかというのは同時に考えないといけないかなと思う。</p> <p>コロナがあるので、会議体自体を安全に、かつ、意見をいう機会がなくて困るようなことなく、物理的にもそういうことを乗り越えていかならならないと思う。</p>	<p>サイレントマジョリティーの意見を聞ける形であると良い。</p> <p>コロナにおける審議会の開催方法も工夫が必要。</p>			
13	<p>市民参加の機会を市民に告知する際の広報手段を工夫し、誰もがそれを周知していることも重要。</p>	<p>広報の工夫により、情報が市民に届くと良い。</p>			
14	<p>市民参加したくなるような環境作りを行政が行う事は、以下のシチズンシップの機運を高める上でも効果的。</p>	<p>市民参加したくなる環境があると良い。</p>			
15	<p>市民が簡単にyesかnoで参加できるタイプのツールを使ってみてはどうか。例えば、市民参加推進委員でインスタグラムのアカウントを作り、ストーリー機能を使って意見を募集するなど。他都市の方の意見も入ってしまうのがウイークポイントだが、手軽に参加出来るというメリットがある。</p>	<p>市民が手軽に参加できるツールがあると良い。</p>			

No.	意見	概要	課題	解決策	備考
16	前回のオンライン会議の模擬でも感じましたが、やはり対面に勝る参加はない。もちろんオンラインでの参加もありの、ハイブリットにしていくのが理想。身体の不自由のある方、お子様のいる方も参加が可能。	オンライン会議の併用も含め、誰でも参加できるようにすると良い。			
17	サイレントマジョリティに対してサイレントマイノリティという言葉はあまり聞かない。 サイレントマジョリティに対しては市民参加への接点を増加させることが大切であるが、同じサイレント層であっても絶対数が抑々少なく意見反映が困難な場合も考えられ、より一層の積極的な働きかけ・配慮が必要なように思う。	サイレントマイノリティへの働きかけ、配慮もあると良い。			

第8期市民参加推進会議行程表

	第7期推進会議行程表		第8期推進会議行程表（予定）
1回目（第50回） 平成30年1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付、正副委員長の互選 ・市民参加条例の概要 ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） 	1回目（第58回） 令和2年7月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付、正副委員長の互選 ・市民参加条例の概要説明 ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・市民参加の事例紹介（小金井市、他市）
2回目（第51回） 平成30年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7期市民参加推進会議の議題について 	2回目（第59回） 令和2年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の理想像・目指す姿について ・課題と解決策の洗い出し
3回目（第52回） 平成30年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・若者の市民参加を推進するための方策について ・第1期提言に対する市議会回答について 	3回目（第60回） 令和3年4月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・課題と解決策の洗い出し ・提言に向けた検討
4回目（第53回） 平成30年7月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討 	4回目（第61回） 令和3年5月（未定）	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討
5回目（第54回） 平成30年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討 	5回目（第62回） 令和3年10月（未定）	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討
6回目（第55回） 平成31年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討 	6回目（第63回） 令和4年2月（未定）	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討（提言文面の確認）
7回目（第56回） 令和元年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討 ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） 	7回目（第64回） 令和4年4月（未定）	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた検討（最終確認）
8回目（第57回） 令和元年7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・提言の受け渡しについて ・提言に対する市長意見について ・第8期の委員募集について ・第7期のまとめ 	8回目（第65回） 令和4年6月（未定）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加条例運用状況等（附属機関の委員等） ・提言に対する市長意見について ・第8期のまとめ